



令和6年度 安曇野市立明北小学校グランドデザイン

安曇野市がめざす子どもの姿

からだを動かし・頭で考え・心に感ずる
未来を拓くたくましい安曇野の子ども

学校教育目標

明るく ゆたかに 生きる 子ども
～行き交う子らが 温かい学校～

学校長の願い

- ・気持ちのこもったあいさつ、歌声、清掃を繰り返し、友だちと過ごすことの意味やお互いの存在を感じあってほしい。
- ・交流活動や人権教育を大切にし、自分もなかまも大事にする気持ちを膨らませてほしい。
- ・地域とつながる活動を通してふるさとへの思いを深めてほしい。
- ・協働的な学びや自主的な学習・活動を通して、自分の学び方を見つけしてほしい。

本校の児童の姿

- 「学校が楽しい」と実感している子ども
(R5年度学校評価 80%)
- 素直で、温かく、優しい子ども
- 姉妹学級、縦割り活動、全校集会等で異年齢の仲間と自然に関われる子ども
- 自分で考え表現することにチャレンジする子ども

具体的目標

- 自ら動き出す子ども
- よく遊び、よく働き、よく学ぶ子ども
- なかまを思いやる子ども
- 自然や社会とかかわり、地域を愛する子ども

取組みの重点

はじめよう「あいさつ」「歌声」「清掃」 つながろう「交流・協働」「地域とのつながり」 ふかめよう「人権教育」「特別支援教育」

はじめる

「あいさつ」 気持ちのよいあいさつ

- *自分から先に
- *声を交わしてハイタッチ
- *場に応じたあいさつ、会釈

「歌声」 心をそそえる歌声

- *歌声で1日を始める朝の会
- *歌で自分も友だちも元気に

「清掃」 すがすがしさを

感じる清掃

- *身支度を整え集中できる環境づくり
- *心と身体を整える

つながる

「交流・協働」 多くの人たちとかかわれる子どもに

- *縦割り活動での「遊び」「読み聞かせ」「清掃」「全校リレー」「長縄とび」
- *姉妹学級、縦割り班での「歌声交流」
- *地域施設への訪問、地域の方とのふれあい
- *明科中学校、明南小学校、認定こども園との園小中一貫「朝の挨拶交流」「歌声交流」「あかしなきれいにし隊」「リモート交流」等

「地域とのつながり」 地域で活動する子どもに

- *学校運営協議会の「授業参観」「職員との懇談」
- *1年生児童とシニアクラブとの交流「花壇づくり」
- *廃線敷、かんだち山など地域素材を生かした生活科・総合的な学習の時間の充実、明北SDGs、キャリア教育
- *地域講師によるクラブ活動
- *学校ボランティアによる日常の学習支援
- *図工室を地域に開放する Art&Talk の実施
- *「学校だより」「学年だより」「ホームページ」等による教育活動の発信

ふかめる

「人権教育」 一人ひとりの子どもを大切にする学校に

- *人権が尊重される「環境づくり」「人間関係づくり」「学習活動づくり」
- *「さん」づけの呼称
- *Q-U調査等を活用した「学級づくり」
- *いじめ、不登校等生徒指導上の問題が発生した際の「早期対応」

「特別支援教育」 全ての子ども笑顔が輝く学校に

- *心を寄せたい児童の「個別の指導計画」作成と継続・連携した指導
- *関係職員がチームで対応
- *タイムリーな「支援会議」
- *外部関係機関との「連携」
- *職員の特別支援に係る「研修」の充実

自ら学び続ける職員集団「チーム明北」

- *授業実践を核にした全校研究
- *様々な角度からの職員研修（年間5回以上）
- *全職員が全校の子どもを支援
- *同僚性を高めるための取り組み

「安心」「安全」で「楽しい」学校

- *早期の点検・修正・確認
- *徹底した危機管理
- *安全教育の推進
- *保護者との情報共有と連携
- *積極的な情報発信（学校だより、HP）

学力向上の取り組み

- 授業改善や学力向上を目指した重点的な取組
 - *「協働的・主体的学習」の推進…互いの考えをつなぎ合う指導、「相手意識」を育てる学習形態の工夫
 - *「自主学習」の充実…児童自らが課題を見つける家庭学習
- 授業改善や学力向上を評価する検証方法（達成目標と検証時期）
 - *自ら考え、それを伝えあうことで、見方・考え方が広がる授業
 - 授業の振り返り
 - *児童アンケート「できた、わかった」「進んで発表した」とともに A・B評価 80%以上（7月、12月）
- 教職員の指導力向上のための研修
 - *「協働的・主体的学習」を意識した授業、見合い創り上げる授業